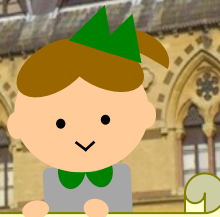


★特集★「英国語学研修体験記 —英語は『つかみが大事』?—

★特集★は
裏面をチェック!

英語は「つかみが大事」?



京都大学ジョン万プログラム Pre-master's Spring School に参加された経済学研究科修士課程 2回生 H.K さんに研修参加の動機、研修中の生活、皆さんへのアドバイスなどのお話を伺いました!

京都大学 吉田南総合図書館 (愛称: 逍遙館)

〒606-8501

京都市左京区吉田二本松町

Tel : 075 (753) 6524, 6525

Fax : 075 (753) 6896

Email : eturan61@mail.adm.kyoto-u.ac.jp

HP : <http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/yoshidasouthlib/>

Blog : <http://yoshidasouthlib.hatenablog.jp/>

Twitter : @yoshidasouthlib

HP



Blog





夏季特別貸出の返却日をお忘れなく！

返却期限日：10月12日（水）

※貸出の更新延長はできませんので、
必ず期日までに返却してください。

期日内に返してくれないと
罰則期間（本を貸出できない期間）が
ついちゃうぞ！

◆ 15分で習得！新聞講習会 ◆

新聞は時勢を読み解く第一級一次資料です。論文や研究で使うために新聞記事を探す例を紹介しながら、新聞の種類と形態、その特色、京大生が使える便利なデータベースをご紹介します。役立つサイトもあわせてご案内します。15分で新聞の使い方を習得してください！参加者にはオリジナルペン立てまたはクリアファイルをプレゼントします。



- ★開催日時：10月17日（月） - 21日（金）
16:30 - 16:45
- ★場所：吉田南総合図書館1F
調査・相談カウンター前
- ★申込方法：メール、または当日直接
会場にお越しください。
メールでお申込みの場合は件名を
「新聞講習会」とし、氏名、学生証
（職員）番号、希望日を記入のうえ
eturan61@mail.adm.kyoto-u.ac.jp
までお送りください。



Follow me! "@yoshidasouthlib"



京都府内公共図書館・読書施設等との相互貸借サービスの試行が開始

京都大学附属図書館と京都府内公共図書館・読書施設等との間で、京都府立図書館が運行する連絡協力車を活用した、資料の相互貸借サービスの試行が始まりました。（2017年3月まで試行）

京都府内公共図書館・読書施設等の図書を、無料で京都大学附属図書館に取り寄せて利用することができます。

詳しくは↓をチェック！

（* 附属図書館以外での受け取りはできません）



★利用できる方…本学の学生、教職員、名誉教授（卒業生、一般利用者の方はご利用いただけません）

★取り寄せできる図書館…京都府立図書館、京都府立総合資料館、京都市図書館、京都府内の公共図書館・読書施設等



◆海外論文なんてこわくない！15分でマスター Web of Science 講座◆

先行研究を調べるときに便利な論文データベース「Web of Science」。

自然科学、社会科学、人文学の幅広い学術情報を網羅した便利なデータベースです。

知って得するWeb of Scienceでの論文検索のコツを15分でご紹介します。

参加者にはオリジナルペン立てまたはクリアファイルをプレゼントします！

★開催日時：10月24日（月） - 27日（木）
16:30 - 16:45

★場所：吉田南総合図書館1F
調査・相談カウンター前

★申込方法：メール、または当日直接会場にお越しください。

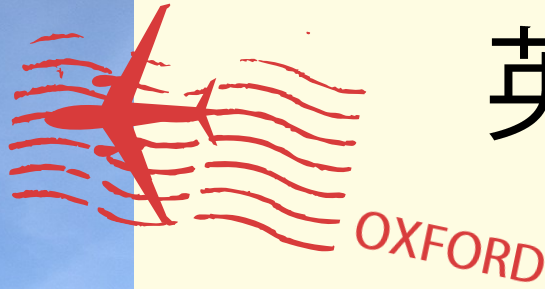
メールでお申込みの場合は件名を「WoS講習会」とし、氏名、学生証（職員）番号、希望日を記入のうえ

eturan61@mail.adm.kyoto-u.ac.jp

までお送りください。



英国語学研修体験記



聖マリア教会 (University Church of St. Mary the Virgin)

<氏名>

H・Kさん

<所属>

経済学研究科修士課程2回生

<研修期間>

2016.03.12-04.07

<プログラム名>

オックスフォード大学 Pre-master's Spring School プログラム (京都大学ジョン万プログラム)

*基本的に4回生から修士1回生が参加するプログラム
(参加者は40人程度)

英語は『つかみが大事』？

——研修を受けようと思った動機は？

直接的な動機はスピーキングとリスニング強化のためです。日本でも語学の勉強はできると思いますが、語学プログラムで行けば効率よく勉強ができると思いましたし、なにより現地に行った方が手っ取り早いし楽しそうだなと。

それから、大学院に入ると、英語の講義を多く受ける機会があり、それにあわせて英語の文献に触れる機会や、留学生の方とディスカッションをする機会も増えますが、そこで自分の英語力が不足していることを痛感したから、という理由もあります。自分が言いたいことをうまく相手に伝えられない、大量の文献を英語で読んではいかに不慣れな感じがする、という悩みがずっとありました。

——研修を受けるにあたり、どのような選考があったのですか？

書類選考と面接がありました。書類選考では日本語で志望動機(八百字)を書き、プログラムで得られた英語力やアカデミックスキルを今後どのように活かしていくのかを英語(四百語)で書きました。書類選考に通った後で面接があり、外国人一人と日本人二人対、学生七人の集団面接でした。学生全員に対して同じ質問がされ、それに一人ずつ答えていく形式です。一度の面接時間は三十分くらいだったと思います。

面接に合格したら、英語のレベル分けがあります。テストと、自分が持っているIELTS(英)やTOEFL(米)のスコアとを合わせてレベルが決定されます。

——一番印象に残っている事は何ですか？

そうですね、大学(キャンパス)の環境がものすごくいいことです。広々と空間が使われていて、学内に湖があり、のびのびした中で勉強ができます。京都大学に比べると、人が込み入って歩いていてぶつかりそうになることもありますが、オックスフォードはそんなことはありませんでした。とにかくスペースの使い方が贅沢だし、建物も見ているだけで歴史と伝統を感じました。研修中にキャンパス内で結婚式をしていたのを見たのですが、それも京大では見ない景色。学内には売店などもあり、町のあちらこちらに何十ものカレッジが点在しているの、町全体が大学のように感じました。

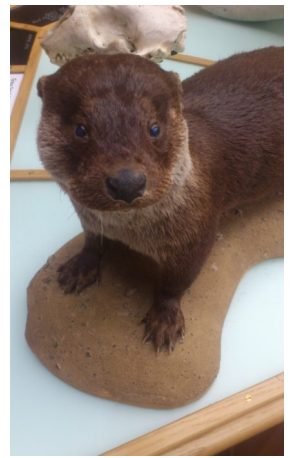
——一日のスケジュールを教えてください。

授業は九時から始まります。先生一人と日本人学生七〜九人くらいのクラスです。

先ほど、レベル分けの話をしました。クラスはこのレベルで分かれています。実際授業を受けてみて、万が一、自分のレベルに合っていないければ、別のクラスに移ることは可能です。実際、移っていた人もいました。

授業はテキストをベースに進められます。私の受けていた授業は(英会話の)ウォームアップ、ロールプレイ、リスニング、リーディング、様々なトピック(環境問題や新しいテクノロジー、オリンピックなど)についてのディスカッションをしました。また、クラスメイトとのペアワークもありました。私は、博物館について調べたのですが、ペアの人と一緒に博物館に行き、歴史や展示品について、また印象に

残った事柄など、調べた内容をパワーポイント資料にしてクラス内で発表しました。



博物館で展示されていたカワウソ

—— 講評は先生がされるのですか？

そうですね。指摘の中で、先生はよく『つかみが大事』という話をしていて、それが印象的でした。『つかみ』とは、例えば最初の挨拶は大きい声で言えとか、一発ギャグを入れるとか(笑)。

偉人について発表した事があったのですが、その時も先生に、例えばビートルズを紹介するなら「曲をかけたりにして、関心を繋ぎとめろ」と指摘されて。最初は「そんなに大事な事なことなのかな」と半信半疑だったんですけど、『関心を繋ぎとめろ』というのは、さきほどお話ししたIELTSの面接の時に大事になってくるんですね。こちらの話す内容に対して、面接官がいかに興味を持ってもらえるかがスコアアップに繋がります。また、アカデミックスキルを鍛えるという意味でもとても大事な要素になっていて、海外で論文発表やポスター発表をする時も、発表の仕方は気をつけたいといけないなど気づきました。

デヴィッド・ボウイ(注三)について発表する機会があったのですが、その時はこの『つかみが大事』という点に気をつけて資料を作成しました。彼が亡くなってからまだ時間が経っていない時期だったこともあり、特にセンセーショナルな部分を盛り上げて発表してみました。反応はよかったですと思います。

—— 研修中の生活について教えてください。

男子寮に住んでいました。部屋の中にはベッド、机とトイレがありました。食堂は百人くらい収容できる大きなところでピュッフェ形式でした。大体八時から開いていて、フルーツ、シリアル、パン、目玉焼きなど取り放題です。よく、イギリスのご飯はおいしくないと聞きますが、この寮のご飯はおいしかったです。夕飯はカレーや洋食が出ました。

週末にはロンドンに遊びに行ったりもしました。オックスフォードから一時間ほどで行けるので、二回ほど出かけました。



—— 勉強自体は難しかったですか？

アカデミッククラスという授業が午後にあったのですが、これは難しかったです。大学院レベルの授業内容で、考古学、国際関係、グローバルメディアから一科目選択して勉強します。私はグローバルメディアを選択していました。でも、専門知識があるわけではないので、先生がイギリスのメディアの話をされても、何を言っているのか聞き取るのに精一杯でした。トピックは分かっても、それがどういう意味なのか、どう大切なのか、深くは理解できずに苦労しました。ただ、授業はほぼ毎日あるので、聞いているうちにある程度は分かるようになりました。英語は、単語として耳に入ってきて、慣れないと文章として理解できないことを痛感しました。

英語の語学の授業については、英語のスキルをチェックする授業なのでそこまで難しくはなかったです。ライティングの授業では、課題がほぼ毎日出て、先生が添削してくれました。

—— 学内の施設について、少し紹介いただけますか？

研究分野ごとに博物館や図書館がありました。図書館については、五百年前に建てられたもので、アイルランドで発刊された資料がほとんど全て入っているらしいです(注四)。日本の国立国会図書館みたいな感じですね。勉強スペースはそれほど広くはないですが、蔵書の量がとても多かったです(注五)。図書館自体もたくさんあって驚きました。もちろん貸出も専用のカードを使ってできます。博物館についても、内部を見学し、自然科学、人類学、美術品などジャンルごとに博物館があってそれぞれのポリシーに圧倒されました。

—— 後輩に向けてのアドバイスをお願いします。

留学をするなら、TOEFLなどの語学試験も受けないといけませんし、早めに情報を集めた方がいいと思います。留学したことがない、海外に行ったことがない人で、ちょっと心配を感じている人もいるかもしれませんが、行ったらなんとかなります。プログラムに応募して行くのと、自分のやりたいことがしっかりしている志の高い人と知り合えますし、少しでも興味があったら行くほうがいいと思います。

私の参加したジョン万プログラムについては、とてもリーズナブルな価格で参加できます。このプログラムには、授業の他に、クライストチャーチの観光(ディナー付。普段なら入れないところで高い料理が食べられる)も付いています。お土産代と週末の食費だけは実費と



オックスフォード大学自然史博物館 (Oxford University Museum of Natural History)

なりますが、それでも合計で二十万円程度あれば十分研修に参加できると思います。

英語も含め外国語が話せると、関われる人が増えます。また、勉強面でも、読める文献の量が格段に増えます。ストレスなく海外の学生や研究者と話せ、文献をすらすら読めるようになったら、大きいですよ。留学はそういった力を付けるのに最も適した方法だと感じますが、分からないことや不安なことも多いでしょう。今回のプログラムは一か月という短い期間ですので、本格的な留学に備える準備期間としてぴったりなのではないでしょうか？

—— ありがとうございます。

(注一) <http://www.eiken.or.jp/ielts/> (注二) <https://www.ets.org/jp/toefl> (注三) イギリスのマルチ・ミュージシャン、俳優。2016年1月10日没。 (注四) 典拠：平野美恵子「イギリスの自然史博物館」(注五) オックスフォードボードリアン図書館が入っている。また、「アイルランドの出版者にはイギリスへの納本義務を課し」とある。<http://www.ndl.go.jp/jp/diet/publication/legis/223/02>

開館日程表

00 9:00-20:00

00 10:00-15:00

00 休館(日・祝日)

00 定例休館日

10月

■ 12日(水) 夏季特別貸出返却期限日

■ 17日(月) - 21日(金) 16:30-16:45
「15分で習得! 新聞講習会」

■ 24日(月) - 27日(木) 16:30-16:45
「海外論文なんてこわくない! 15分で
マスター Web of Science 講座」

読書週間キャンペーン
BOOK BINGO 開催します!
10月24日(月)START★

11月

■ 19日(土) - 22日(火)
第58回 京都大学11月祭



環 on Library わおん

「環on(わおん)」(人環棟1F)

開室: 平日9:00-17:00

本館の定例休館日も開室

休室: 土日祝日ほか

(本館の休館日と同じ)

10

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

11

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

12

12月29日-1月3日: 冬季休館

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31